

相馬福島道路の整備効果

整備効果

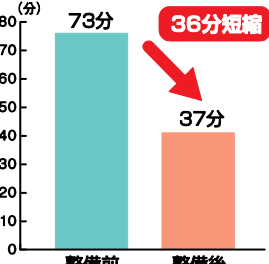
整備効果

効率的な交通経路の選択が可能に!

- ◎相馬福島道路の整備により、相馬～福島間の所要時間が約40分短縮されます。
- ◎縦軸（東北道、常磐道）と横軸（相馬福島道路、仙台南部道路）の高速道路がつながり、効率的な交通経路の選択が可能になります。



▼福島飯坂IC⇔相馬IC間の所要時間の変化



資料:平成27年全国道路・橋梁交通情勢調査
※整備後の所要時間は法定最高速度(80km/h)で算出

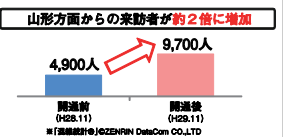
凡例

有料区間(供用済区間)	有料区間(事業中区間)	無料区間(供用済区間)	無料区間(事業中区間)
-------------	-------------	-------------	-------------

広域的な観光交流を支援!

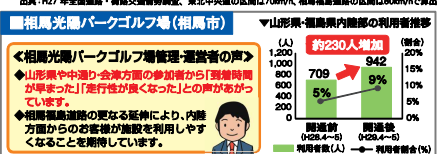
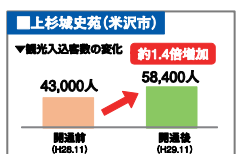
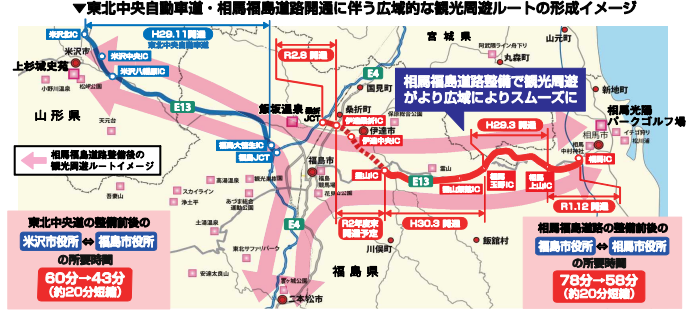
- ◎東北中央道(福島～米沢)開通後、福島市の観光施設では山形方面からの来訪者が約2倍に、米沢市では約1.4倍に増加しています。
- ◎阿武隈東道路開通後、相馬市内の観光施設では山形県・福島県内陸部からの来訪者が増加しています。
- ◎相馬福島道路が開通すれば、所要時間の短縮による新たな広域観光周遊ルートの形成と更なる地域連携の強化により、交流人口の増加と活発な観光交流が期待されます。

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

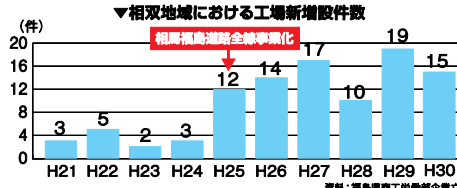
道路開通で地域連携



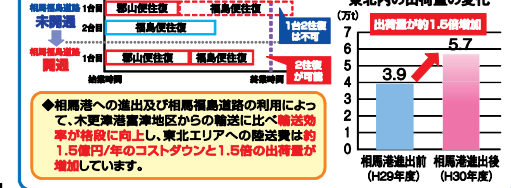
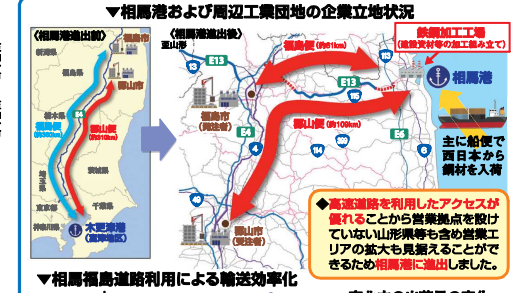
物流効率化で企業活動を支援!

- ◎東日本大震災において甚大な被害が生じた福島県相馬地域において近年工場の新設等の企業の進出が顕著であり、中でも相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が強化される相馬港背後圏への企業立地が促進されています。
- ◎港湾と高速道路ネットワークのアクセス強化により、物流の効率化が図られるとともに被災地の産業復興を支援します。

▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



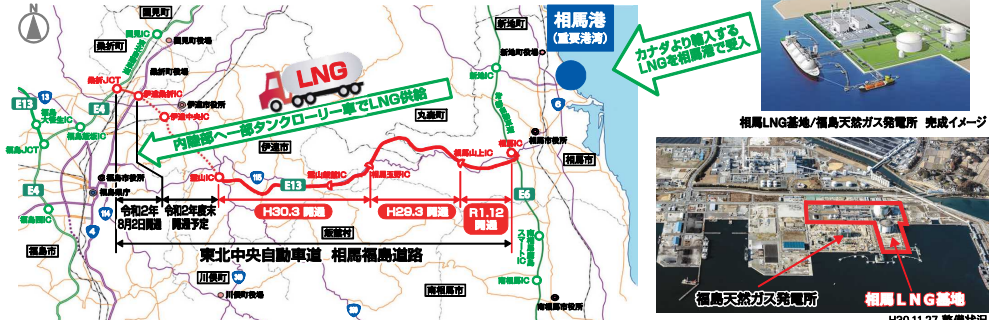
相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例



相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化!

- ◎相馬港(重要港湾)に立地するLNG基地は、国内最大級の23万キロリットルの地上式LNGタンクを有した福島県内初の大型LNG基地で、平成30年3月28日に操業開始されています。
- ◎内陸部へのタンクローリー車による輸送を計画しており、その際は相馬福島道路が利用されます。
- ◎相馬福島道路が開通すると、内陸部への安定確実なLNGの供給が可能となるとともに、時間短縮が図られることにより、流通エリアや営業エリアの拡大により、収益が上がり、地域産業の活性化・地域雇用拡大が期待されています。

▼相馬福島道路を利用した新たな物流の動き



- 《相馬商工会議所の声》
- ◆平成29年度末に操業開始した相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
 - ◆相馬福島道路の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、相馬地域の地方創生に寄与するものと期待し、一日も早い開通を望みます。